

エコアクション 21 環境経営レポート

2024年2月15日 作成

(期間 2023年1月～2023年12月)



塩田工業株式会社

I.方針

環 境 経 営 方 針

社 是

誠

基 本 理 念

塩田工業株式会社の社業は、公害防止・環境汚染防止等、あらゆる環境衛生設備に関連する仕事で、日々の社業を通じて社会に奉仕・貢献しております。

「誠」を社是に掲げ、限りある資源の有効活用を積極的に行い、より良い地球環境を作っていくため、環境経営の継続的改善に取り組んでいきます。

基 本 方 針

具体的に次のことに取り組みます。

1. 事業活動において使用する電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減を目指します。
2. 事業活動における廃棄物を管理把握し、意識の改善向上に取り組みます。
3. 事業活動において水の使用量を削減、節水に努めます。
4. この方針を全社員が理解するために定期的な教育を実施し、活動が確実に環境保全へと結び付き、普及していくことを目指します。
5. 事業活動において関連する法律や条令などの法規制を遵守します。
6. グリーン購入(環境配慮型製品の導入)を推進します。
7. 計画・設計段階で環境配慮型製品の採用を提案し、現場では環境に配慮した設計・施工に取り組みます。

制 定 2009 年 7 月 25 日

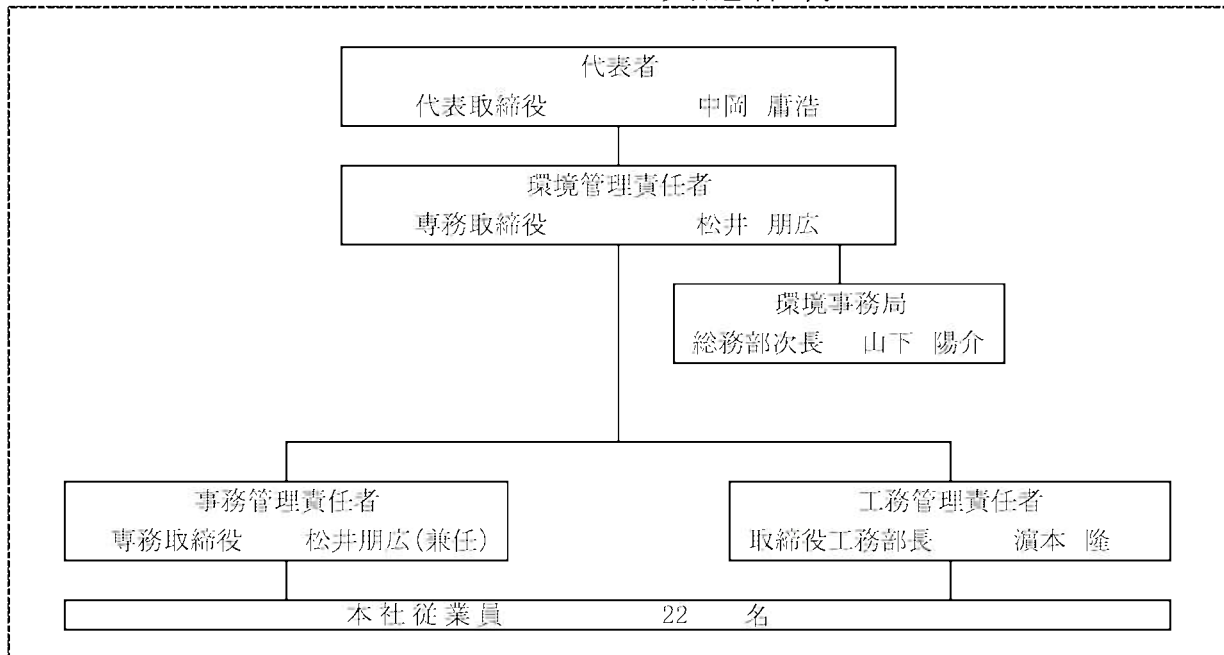
改 定 2023 年 2 月 10 日

塩田工業株式会社

代表取締役 中 岡 庸 浩

Ⅱ.実施体制図

エコアクション21実施体制



役 割

代表者（社長）	- 環境経営に関する統括責任 環境経営方針の策定・見直し 環境管理責任者の任命 環境経営目標・活動計画の設定の承認 環境経営活動レポートの承認 環境経営システム運用に必要な資源の準備 運用面全般の評価及び見直しの実施 - 経営に於ける課題とチャンス明確化
環境管理責任者	- 代表者に代わり、環境経営システム全体の構築・運用に責任を持つ 環境経営方針の全従業員への周知徹底 環境への負荷及び取組のチェック結果の評価・確認 環境経営目標・活動計画の評価・確認 代表者への実施状況報告並びに各部への指示 環境経営活動レポートの確認 環境経営システムの運用面全般の見直しに必要な情報の報告 - 外部からの苦情・意見等を受け付け、各管理責任者に指示する
環境事務局	- 環境管理責任者の全面的なサポート及び関係者を適宜招集し、環境経営システムの運用上必要となる諸事項に対応する - 外部からの情報（法律・条令等）収集を行う。 - 外部からの問い合わせ・質問等の受け答えを行う。
事務管理責任者 及び 工務管理責任者	- 環境経営方針を部内従業員へ周知 環境への負荷及び取組チェックの実施（各現場ごと） 部における環境目標・活動計画の策定及び見直し 部内（各現場ごと）で保管する環境記録の管理 - 外部からの苦情・意見等に対し、担当従業員に指示命令する
全従業員	管理責任者の指示の下、任務遂行する

Ⅲ.事業概要

■ 会社概要

【会社名】 塩田工業株式会社

【代表者氏名】 代表取締役 中岡 庸浩

【所在地】 本 社 〒734-0022
(認証範囲) 広島市南区東雲2-14-6

【資本金】 4,712万円

【設立年月日】 昭和24年2月4日

【従業員数】 20 名

■ 事業活動の概要

【事業内容】 管工事業 広島県知事登録 特-第39512号
機械器具設置工事業 //

土木工事業 広島県知事登録 般-第39512号
水道施設工事業 //
鋼構造物工事業 //
消防施設工事業 //
解体工事業 //

【営業種目】 上下水道施設工事、給排水設備工事、衛生設備工事、消火設備工事、空調設備工事、トンネル非常用設備工事、濾過設備工事、浄水設備、排水処理施設工事の設計及び施工

【認可】 広島市水道局指定工事店
広島市排水設備工事指定工事店
広島市水道局指定給水装置工事事業者証
ひろしまエコ事業所認定証 認定番号0004

■ 連絡窓口

【環境管理責任者】

専務取締役 松井 朋広

【連絡先:事務局】

総務部次長 山下 陽介

TEL 082-281-9161

FAX 082-286-8722

IV. 環境経営目標・計画及び実績

評価と次年度の環境経営目標・計画

①環境経営方針との整合

電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の維持もしくは削減。

廃棄物を管理把握し、維持もしくは削減。

水の使用量維持もしくは削減。

定期的な教育の実施

グリーン購入の推進

環境配慮型製品の提案、環境に配慮した設計・施工

2018年度を基準とし、今後5年間、電力・燃料・水の使用量を現状維持(中期目標)

②環境負荷量を考慮(現状)

電力 : 不要な照明の消灯、エアコンの温度設定(夏場28℃・冬場20℃)、クールビズ運動実施中
本社社屋の照明をLEDに更新(2012年5月)、環境配慮型空調機に更新(2012年5月)

ガス : 流し台使用時の温水利用低減

燃料 : 燃費を考慮した走行

水 : 蛇口のコまめな開閉操作の励行、1F・2Fトイレ節水便器に取替(2012年10月)

廃棄物 : ミスコピー、片面のみのコピー(裏紙利用)

グリーン購入 : 事務用品のグリーン化把握

環境配慮型製品の提案・施工 : エコ製品のリストアップ、現場のエコ活動

③環境への取組考慮(目標達成への手段)

電力 : 不要な照明の消灯、エアコンの温度設定(夏場28℃・冬場20℃)、クールビズ運動(継続)

ガス : ガス湯沸し器の種火を消す、流し台使用時の温水利用の低減(継続)

燃料 : アイドリング・急発進・急ブレーキ・急加速の禁止(エコドライブ10のすすめ作成、掲示)

水 : 蛇口のコまめな開閉操作の励行(継続)

廃棄物 : ミスコピーの防止(事前確認)、両面コピーの励行、ゴミ分別実施、資材の再利用(継続)

グリーン購入 : 事務用品のグリーン化把握

環境配慮型製品の提案・施工 : エコ製品のリストアップ、現場のエコ活動

※ 化学物質(PRTR制度対象物質)は使用していません

④次年度の環境経営目標・計画

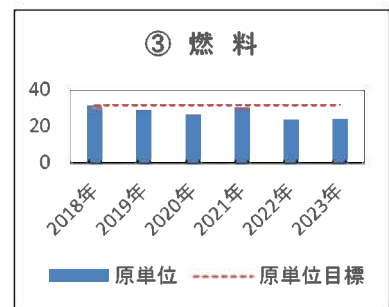
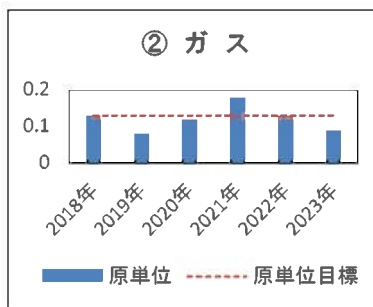
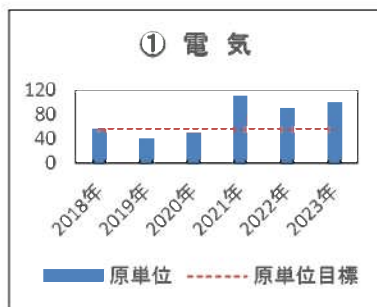
目標は、次表の環境経営目標2023年のとおり。

計画は、「③環境への取組考慮」のとおり。

・ 二 酸 化 炭 素 関 係

環境経営目標 設定項目	項目	基準実績	5 年 目 標 (中 期 目 標)				
		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
		1～12月	1～12月	1～12月	1～12月	1～12月	1～12月
売上高(百万円)		740	1,005	779	446	500	547
①電気(事務・現場) 単位:kWh	使用量	41,813	41,942	39,512	49,647	45,405	55,008
	原単位	56.5	41.7	50.7	111.3	90.8	100.6
	原単位目標	—	56.5	56.5	56.5	56.5	56.5
	2018年比較	100%	73.9%	89.8%	197.0%	160.7%	178.0%
②ガス(事務) 単位:m ³	使用量	98	82	90	81	65	49
	原単位	0.13	0.08	0.12	0.18	0.13	0.09
	原単位目標	—	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13
	2018年比較	100%	61.5%	92.3%	138.5%	100.0%	69.2%
③燃料(事務・現場) 単位:l	使用量	23545.77	29511.89	20755.07	13595.29	12002.35	13325.47
	原単位	31.8	29.4	26.6	30.5	24.0	24.4
	原単位目標	—	31.8	31.8	31.8	31.8	31.8
	2018年比較	100%	92.3%	83.7%	95.8%	75.4%	76.6%

※原単位(kWh/百万円)=使用量/売上高



<評価と次年度の取組>

<電気>

使用料・原単位ともに増加しているのは、感染症対策により業務中に窓を開けて、換気状態のままエアコンを使用しているのが原因と思われる。来年度も、必要最小限の電気使用に取り組んでいく。

<ガス>

使用量・原単位ともに減少を続けている。引き続き、給湯器の使用の抑制等に取り組んでいく。

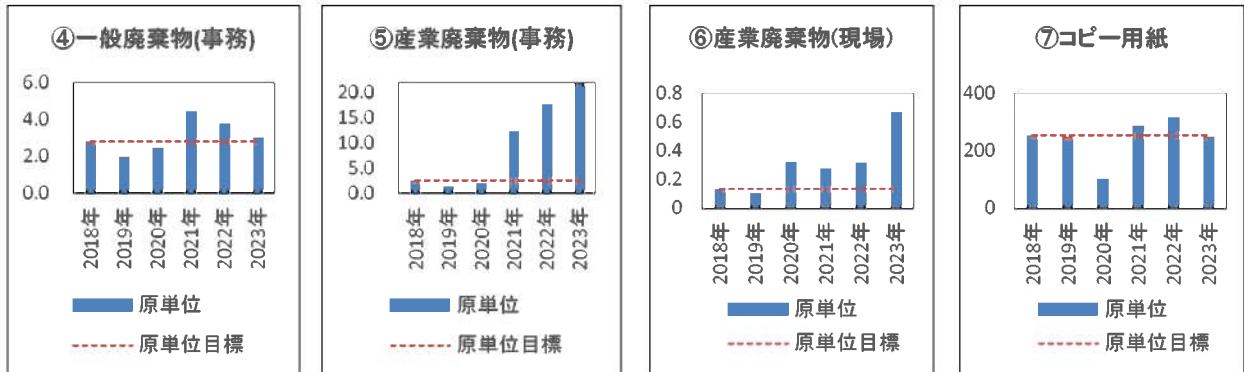
<燃料>

使用量・原単位ともに微増している。引き続き、燃費向上を心がけた安全運転を、会議等で展開していく。

・ 廃棄物排出量

環境経営目標 設定項目	項目	基準実績	5 年 目 標 (中 期 目 標)				
		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
		1～12月	1～12月	1～12月	1～12月	1～12月	1～12月
売上高(百万円)		740	1,005	779	446	500	547
④一般廃棄物(事務)	使用量	2.06	1.97	1.91	1.98	1.88	1.65
	単位:t						
	原単位	2.78	1.96	2.46	4.44	3.76	3.01645
	※利便上、原単位を1000倍する。						
⑤産業廃棄物(事務)	使用量	1.88	1.30	1.50	5.50	8.8	12.0
	単位:t						
	原単位	2.54	1.29	1.93	12.33	17.60	21.94
	※利便上、原単位を1000倍する。						
⑥産業廃棄物(現場)	使用量	101.32	107.27	251.80	123.05	160.2	365.26
	単位:t						
	原単位	0.137	0.107	0.323	0.28	0.32	0.67
	原単位目標	—	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14
⑦コピー用紙	使用量	187,500	250,000	81,250	128,000	158,000	135,500
	(事務)単位:枚						
	原単位	253.4	248.8	104.3	287.0	316.0	247.7
	原単位目標	—	253.4	253.4	253.4	253.4	253.4
コピー用紙	2018年比較	100%	98.2%	41.2%	113.3%	124.7%	97.8%

※原単位(kWh/百万円)=使用量/売上高



<評価と次年度の取組>

<一般廃棄物(事務)>

排出量は減少している。引き続き、社内でのリサイクル及び廃棄物減量を心掛けるよう、社員へ注意喚起(弁当がら削減、My箸持参等)を行う。

<産業廃棄物(事務)>

排出量・原単位ともに大幅に増加しているが、これは事務所倉庫の片づけを行ったのが原因と考えられる。引き続き廃棄量の削減に努めていく。

<産業廃棄物(現場)>

処分量が大幅に増加しているが、これは既設機器撤去の業務を請け負った影響が出ている。引き続き、廃棄物の削減(梱包材の事前キャンセル・材料の余剰削減)に取り組んでいく。

<コピー用紙>

使用量・原単位ともに減少しているが、来年度もペーパーレスや裏紙利用などの使用量削減を社内に周知徹底していく。

・ 節 水

環境経営目標 設定項目	項目	基準実績	5 年 目 標 (中 期 目 標)				
		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
		1～12月	(1年目) 1～12月	(2年目) 1～12月	(3年目) 1～12月	(4年目) 1～12月	(5年目) 1～12月
売上高(百万円)		740	1,005	779	446	500	547
⑧ 水 (事務・現場)	使用量	291	316	305	287	266	245
	原単位	0.39	0.31	0.39	0.64	0.53	0.45
	原単位目標	—	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39
	単位: m ³ 2018年比較	100%	79.5%	100.0%	164.1%	135.9%	115.4%

※原単位(kWh/百万円)=使用量/売上高

⑧ 水

年次	原単位	原単位目標
2018年	0.39	0.39
2019年	0.31	0.39
2020年	0.39	0.39
2021年	0.64	0.39
2022年	0.53	0.39
2023年	0.45	0.39

<評価と次年度の取組>	<節水> 使用料・原単位ともに減少傾向にある。来年度からも、感染症対策のために手洗いなどを徹底していきなかで、必要最小限の水使用に取り組んでいく。
-------------	--

・教育及び環境経営活動

環境経営目標 設定項目	項目	基準実績	5 年 目 標 (中 期 目 標)				
		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
		1～12月	1～12月	1～12月	1～12月	1～12月	1～12月
【環境教育】 (内容)	目標	12 回	12 回	12 回	12 回	12 回	12 回
	実施	12 回	12 回	12 回	12 回	12 回	12 回
	安全衛生会議(月1回の実施)						
【地域貢献】 (内容)	目標	24 回	24 回	24 回	24 回	24 回	24 回
	実施	24 回	24 回	24 回	24 回	24 回	24 回
	ごみ拾い・清掃活動(月2回の実施)						
【エコ提案】 (内容)	目標	10 件	10 件	10 件	10 件	10 件	10 件
	実施	4 件	5 件	6 件	15 件	5 件	5 件
	社内及び現場でのエコ提案 (採用例) ・ 両面コピーの励行 ・ 社内間文書のコピー及びプリント出力は裏紙を使用する。 ・ 毎月15日を環境整備の日と定め、会社周辺の市道・歩道のごみ拾い、草抜き等を行う。						
【グリーン購入の推進】 (内容)	目標	15 個	15 個	15 個	15 個	15 個	15 個
	実施	16 個	15 個	17 個	21 個	10 個	13 個
	主に消耗品、備品類(アイテム数)						
【環境配慮型製品の 提案】 (内 容) (採用例)	目標	5 個	5 件	5 件	5 件	5 件	5 件
	実施	5 個	5 件	5 件	9 件	4 件	5 件
	環境配慮型製品の採用の提案 ・ 人感センサー付空調機導入 ・ 節水型トイレに取替 ・ LED照明へ取替 ・ 環境配慮型ルームエアコン取替 ・ 屋上断熱塗装						
【(現場)環境に配慮 した設計・施工】 (内 容) (採用例)	目標	5 件	5 件	5 件	5 件	5 件	5 件
	実施	3 件	2 件	4 件	6 件	8 件	7 件
	環境に配慮した設計・施工の採用 ・ 現場のごみの分別 ・ 現場でのエコ商品の利用 ・ 現場でのエコ活動						
＜評価と次年度の取組＞		全社員で取り組む環境整備(毎月1回)も継続的にを行い、社内に浸透してきている。今後も継続し、地域に貢献したい。					

※ 二酸化炭素排出量は次の通りです。

	電気	ガス	燃料
エネルギー使用量	45,405 kwh	65 m ³	12,002.35 ℓ
排出係数	0.585 kg-CO ₂ /kwh	2.16 kg-CO ₂ /m ³	2.320 kg-CO ₂ /L
排出量	26,561.93 kg-CO ₂	140.40 kg-CO ₂	27,845.45 kg-CO ₂

目標値相当の排出量
79,298.5 kg-CO ₂

二酸化炭素排出量
計 54,547.8 kg-CO ₂

IV. 環境経営目標・計画及び実績

評価と次年度の環境経営目標・計画

・中期目標(2019～2023年度)の結果

目標設定を行った過去5年間は、2019年12月に発生した新型コロナウイルスへの一連の対応が数値に大きく影響を及ぼしており、主に電気と水の使用量が増加している。また、各年度に受注した工事内容によっても、使用料の増減が発生する要因になっていることが判明した。

【電気】

新型コロナウイルス非常事態宣言中は、屋内で十分な換気を行っていたため、空調機の稼働頻度上昇により電気使用量が増加したと思われる。また、昨今の異常気象による夏場の気温上昇も一因と考えられる。

【ガス】

原単位としては増減を繰り返してはいるが、使用量としては減少傾向にあるため、エコ活動による結果が反映されている。

【燃料】

使用量の増加は、遠方の工事を受注した年度で起きているが、売上と比較した原単位基準で考えると減少傾向にある。

【一般廃棄物(事務)】

年度ごとに微減が続いている。社内でのエコ活動の推進が行われている結果と考えられる。

【産業廃棄物(事務)】

福利厚生施設に関係する改修工事を行ったため、社内で処分する産業廃棄物が増加した。

【産業廃棄物(工事)】

発生量が増加している年度では、大規模な撤去・改修工事を受注しているため、撤去品の搬出が数値に大きな影響を与えている。

【水道】

新型コロナウイルス非常事態宣言中の手洗い・うがいを励行していたため使用量が上昇したと考えられる。

・今後の目標設定(新中期目標)について

今回の結果を踏まえて、使用量増減を比較することにより、発生量の原因・考察を行うために過去5年間(2019～2023年度)を平均した数値を中期目標(2024～2028年度)として設定し現状維持を目標とする。

①環境経営方針との整合

電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の維持もしくは削減。

廃棄物を管理把握し、維持もしくは削減。

水の使用量維持もしくは削減。

定期的な教育の実施

グリーン購入の推進

環境配慮型製品の提案、環境に配慮した設計・施工

2019～2023年度の平均値を基準とし、今後5年間、電力・燃料・水の使用量を現状維持(中期目標)

②環境負荷量を考慮(現状)

電力 : 不要な照明の消灯、エアコンの温度設定(夏場28℃・冬場20℃)、クールビズ運動実施中
本社社屋の照明をLEDに更新(2012年5月)、環境配慮型空調機に更新(2012年5月)

ガス : 流し台使用時の温水利用低減

燃料 : 燃費を考慮した走行

水 : 蛇口のこまめな開閉操作の励行、1F・2Fトイレ節水便器に取替(2012年10月)

廃棄物 : ミスコピー、片面のみのコピー(裏紙利用)

グリーン購入 : 事務用品のグリーン化把握

環境配慮型製品の提案・施工 : エコ製品のリストアップ、現場のエコ活動

③環境への取組考慮(目標達成への手段)

電力 : 不要な照明の消灯、エアコンの温度設定(夏場28℃・冬場20℃)、クールビズ運動(継続)

ガス : ガス湯沸し器の種火を消す、流し台使用時の温水利用の低減(継続)

燃料 : アイドリング・急発進・急ブレーキ・急加速の禁止(エコドライブ10のすすめ作成、掲示)

水 : 蛇口のこまめな開閉操作の励行(継続)

廃棄物 : ミスコピーの防止(事前確認)、両面コピーの励行、ゴミ分別実施、資材の再利用(継続)

グリーン購入 : 事務用品のグリーン化把握

環境配慮型製品の提案・施工 : エコ製品のリストアップ、現場のエコ活動

※ 化学物質(PRTR制度対象物質)は使用していません

④次年度の環境経営目標・計画

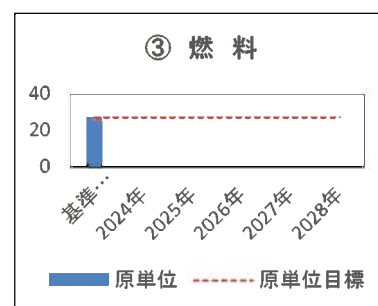
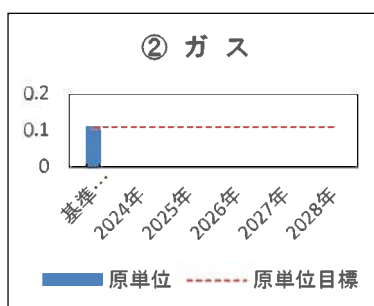
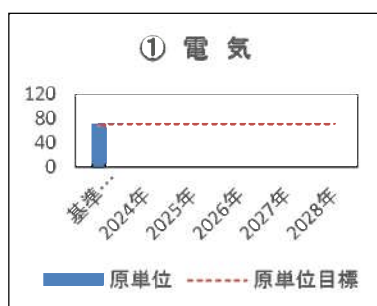
目標は、次表の環境経営目標2024年のとおり。

計画は、「③環境への取組考慮」のとおりに。

・ 二 酸 化 炭 素 関 係

環境経営目標 設定項目	項目	基準実績	5 年 目 標 (中 期 目 標)				
		2019年 ～2023年 1～12月	2024年 (1年目) 1～12月	2025年 (2年目) 1～12月	2026年 (3年目) 1～12月	2027年 (4年目) 1～12月	2028年 (5年目) 1～12月
売上高(百万円)		655					
①電気(事務・現場) 単位:kWh	使用量	46,303					
	原単位	70.7					
	原単位目標	—	70.7	70.7	70.7	70.7	70.7
	基準実績比較	100%	—	—	—	—	—
②ガス(事務) 単位:m ³	使用量	73					
	原単位	0.11					
	原単位目標	—	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
	基準実績比較	100%	—	—	—	—	—
③燃料(事務・現場) 単位:ℓ	使用量	17838.01					
	原単位	27.2					
	原単位目標	—	27.2	27.2	27.2	27.2	27.2
	基準実績比較	100%	—	—	—	—	—

※原単位(kWh/百万円)=使用量/売上高

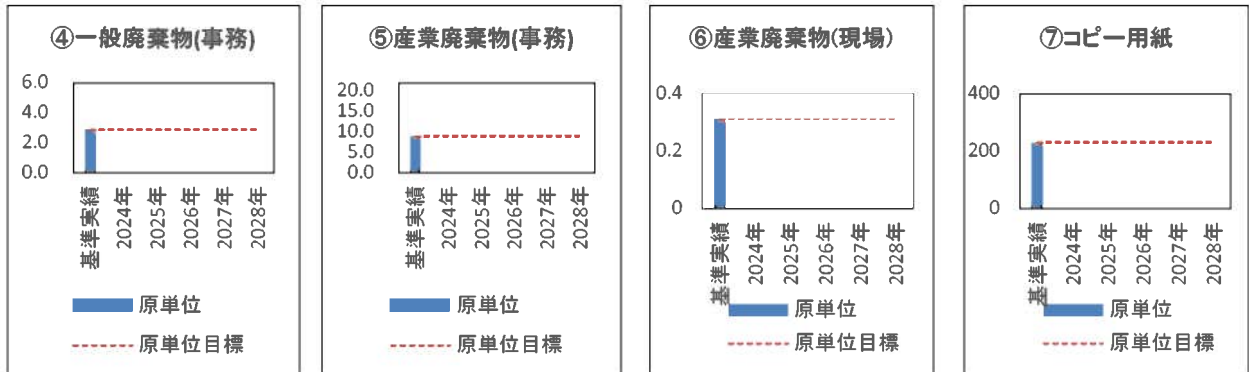


< 評価と次年度の取組 >

・ 廃棄物排出量

環境経営目標 設定項目	項目	基準実績	5 年 目 標 (中 期 目 標)				
		2019年 ～2023年 1～12月	2024年 (1年目) 1～12月	2025年 (2年目) 1～12月	2026年 (3年目) 1～12月	2027年 (4年目) 1～12月	2028年 (5年目) 1～12月
売上高(百万円)		655					
④一般廃棄物(事務) 単位:t ※利便上、原単位を1000倍する。 可燃・不燃・資源等	使用量	1.88					
	原単位	2.87					
	原単位目標	—	2.87	2.87	2.87	2.87	2.87
	基準実績比較	100%	—	—	—	—	—
⑤産業廃棄物(事務) 単位:t ※利便上、原単位を1000倍する。 産業廃棄物	使用量	5.82					
	原単位	8.89					
	原単位目標	—	8.89	8.89	8.89	8.89	8.89
	基準実績比較	100%	—	—	—	—	—
⑥産業廃棄物(現場) 単位:t	使用量	203.92					
	原単位	0.31					
	原単位目標	—	0.31	0.31	0.31	0.31	0.31
	基準実績比較	100%	—	—	—	—	—
⑦コピー用紙 (事務)単位:枚 コピー用紙	使用量	150,550					
	原単位	229.9					
	原単位目標	—	229.9	229.9	229.9	229.9	229.9
	基準実績比較	100%	—	—	—	—	—

※原単位(t/百万円)=使用量/売上高



＜評価と次年度の取組＞

・ 節 水

環境経営目標 設定項目	項目	基準実績	5 年 目 標 (中 期 目 標)				
		2019年 ～2023年 1～12月	2024年 (1年目) 1～12月	2025年 (2年目) 1～12月	2026年 (3年目) 1～12月	2027年 (4年目) 1～12月	2028年 (5年目) 1～12月
売上高(百万円)		655					
⑧ 水 (事務・現場) 単位: m ³	使用量	284					
	原単位	0.43					
	原単位目標	—	0.43	0.43	0.43	0.43	0.43
	基準実績比較	100%	—	—	—	—	—

※原単位(m³/百万円)=使用量/売上高

⑧ 水

年次	原単位 (m ³ /百万円)	原単位目標 (m ³ /百万円)
基準実績 (2019～2023)	0.43	—
2024年	0.43	0.43
2025年	0.43	0.43
2026年	0.43	0.43
2027年	0.43	0.43
2028年	0.43	0.43

<評価と次年度の取組>

・教育及び環境経営活動

環境経営目標 設定項目	項目	基準実績	5 年 目 標 (中 期 目 標)				
		2019年 ～2023年 1～12月	2024年 (1年目) 1～12月	2025年 (2年目) 1～12月	2026年 (3年目) 1～12月	2027年 (4年目) 1～12月	2028年 (5年目) 1～12月
【環境教育】 (内容)	目標	12 回	回	回	回	回	回
	実施	回	回	回	回	回	回
安全衛生会議(月1回の実施)							
【地域貢献】 (内容)	目標	24 回	回	回	回	回	回
	実施	回	回	回	回	回	回
ごみ拾い・清掃活動(月2回の実施)							
【エコ提案】 (内容)	目標	10 件	件	件	件	件	件
	実施	件	件	件	件	件	件
社内及び現場でのエコ提案 (採用例)		・ 両面コピーの励行 ・ 社内間文書のコピー及びプリント出力は裏紙を使用する。 ・ 毎月15日を環境整備の日と定め、会社周辺の市道・歩道のごみ拾い、草抜き等を行う。					
【グリーン購入の推進】 (内容)	目標	10 個	個	個	個	個	個
	実施	個	個	個	個	個	個
主に消耗品、備品類(アイテム数)							
【環境配慮型製品の 提案】	目標	5 個	件	件	件	件	件
	実施	個	件	件	件	件	件
(内 容)		環境配慮型製品の採用の提案					
(採用例)		・ 人感センサー付空調機導入 ・ 環境配慮型ルームエアコン取替 ・ 節水型トイレに取替 ・ 屋上断熱塗装 ・ LED照明へ取替					
【(現場)環境に配慮 した設計・施工】	目標	5 件	件	件	件	件	件
	実施	件	件	件	件	件	件
(内 容)		環境に配慮した設計・施工の採用					
(採用例)		・ 現場のごみの分別 ・ 現場でのエコ活動 ・ 現場でのエコ商品の利用					
<評価と次年度の取組>							

※ 二酸化炭素排出量は次の通りです。

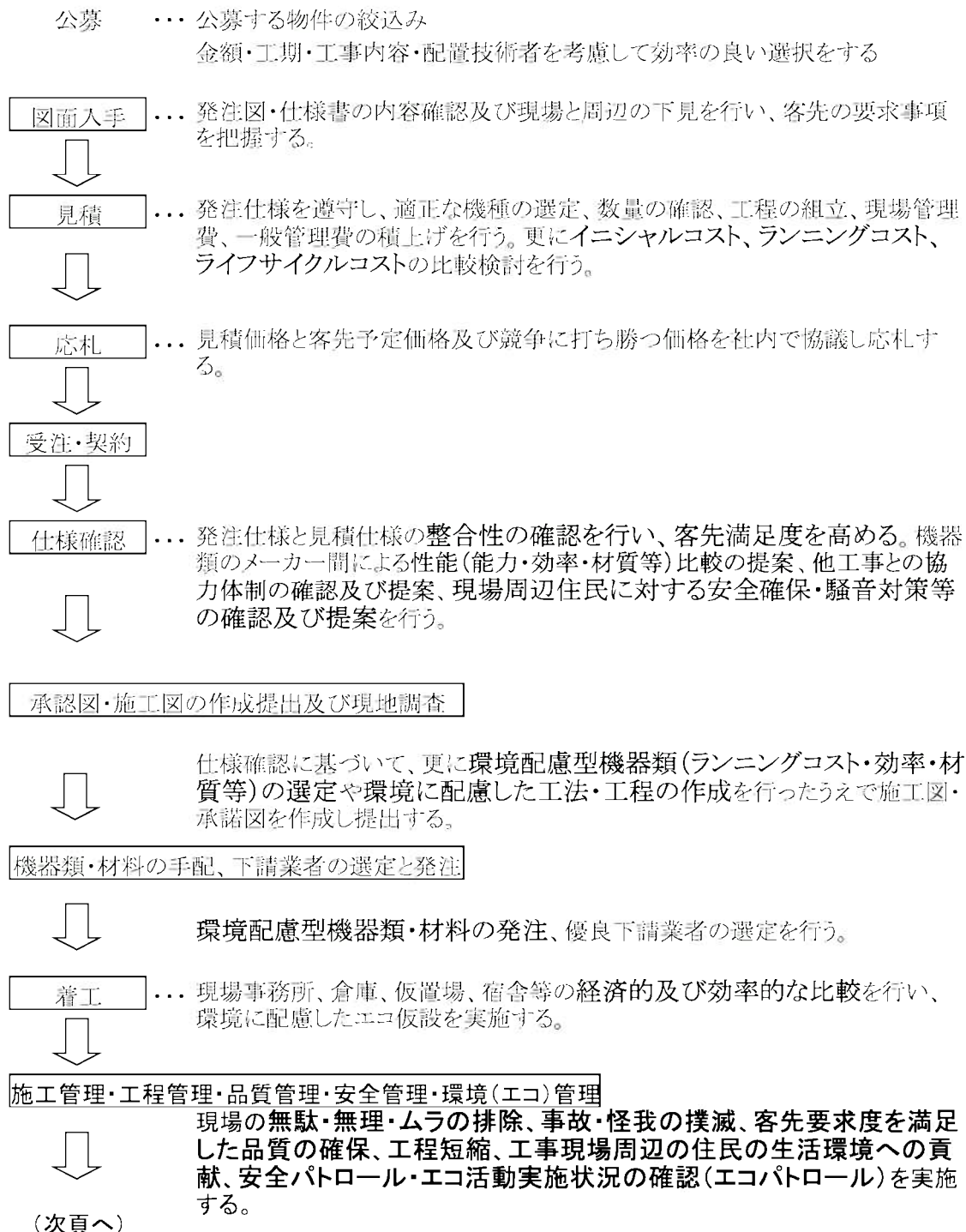
	電気	ガス	燃料
エネルギー使用量	0 kwh	0 m ³	0.00 ℓ
排出係数	0.585 kg-CO ₂ /kwh	2.16 kg-CO ₂ /m ³	2.320 kg-CO ₂ /ℓ
排出量	0.00 kg-CO ₂	0.00 kg-CO ₂	0.00 kg-CO ₂

目標値相当の排出量
kg-CO ₂

二酸化炭素排出量
計 kg-CO ₂

V. 自らが施工・販売・提供する活動

① 代表的な業務のフロー(手順)とエコアクションとの関係





検査
(中間・完成)

... 客先発注仕様と工事成果との整合性、法令遵守状況の確認及びエコ活動状況の確認を行う。



客先検査・引渡

まとめ ... 上記のように当社事業活動をフロー化し、エコ活動を洗い出し、創意工夫をすれば、更なるエコ活動ができることを認識しておりますので継続して取り組みます。

② エコ製品のリストアップ

エコ製品 エコ評価	太陽光	ステンレス	節水トイレ	塩ビ管	軟管	空調機	ポンプ	送風機	冷温水発生機	パソコン	携帯電話	再生紙	コピー機	配管材料	配線材料	塗料	集塵ドリル	発電機
省エネ	○		○			○	○	○	○	○	○		○					
CO2	○					○	○	○	○				○					
節水			○															
長寿命		○		○							○	○		○	○			
再利用可		○												○	○			
有害物質				○		○			○					○	○	○		
メンテ性					○	○	○	○	○				○	○		○		
ランニングコスト						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
イニシャルコスト						○	○	○	○	○	○		○	○				
ライフコスト						○	○	○	○	○			○	○	○	○		
騒音						○	○	○	○				○					○
多機能																	○	

現場でのエコ活動



現場でのエコ活動



現場パトロール



- 日々のKY活動の中で環境配慮の周知及び緊急事態の訓練を行っています。
- 安全パトロール時にエコパトロールと称して現場のエコ活動の状況確認及び、指導を行っています。
- ごみの分別を徹底するよう指導しております。
- 『安全は全てに優先する』をモットーにヒヤリハット等に遭遇した場合は速やかに報告させ、皆に周知し、事故の予防に努めています。
- グリーン購入(環境配慮型製品使用)を推進しております。

まとめ … 今後も社内、現場作業等での気付きの中での提案を随時採用していきます。

年別 環境に配慮した施工 並びに 地域貢献

【2012 年】

○ 安 全 性 …… 現場内エコパトロール

エコパトロール



○ 環 境 配 慮 …… 環境配慮型発電機利用

環境配慮型発電機



○ 効 率 性 …… 施工面からの機種選定

工程管理(資材保管場所確保、雪対策 等)によるもの

施工面での機種選定



資材保管場所(工程管理)



雪対策(除雪作業)



- ・ 手狭な環境でのコンパクト且つ高性能機器の据付
- ・ 資材の数量把握をし易く、且つ搬出入等の作業し易い保管場所確保並びに保管
- ・ 豪雪地域現場での作業前除雪作業(除雪機リース手配)

【2013 年】

○ 安 全 性 …… 熱中症予防、体調管理などの安全管理提案

社会保険未加入業者(下請業者)に対する加入啓発及び推進

月初安全衛生会議(毎月)



社会保険加入啓発推進



- 経 済 性・・・材料の数量管理の励行による省資源
(分かりやすく作業し易い数量管理)

資材数量管理の励行



資材数量管理の励行



- 環 境 配 慮・・・現場内での排水処理(湧水のpH処理 等)
pH値の高い湧水及び濁り水を河川に放水すると、水質に影響を及ぼす恐れがあるため、一時タンクに受け、塩素系の凝集剤で薬注処理後、不純物を沈殿並びに浮遊させ水質改善を図ったのち排水を行う。

現場内排水処理(湧水pH処理)



湧水pH処理フロー



現場内排水処理(湧水pH処理)



設置状況



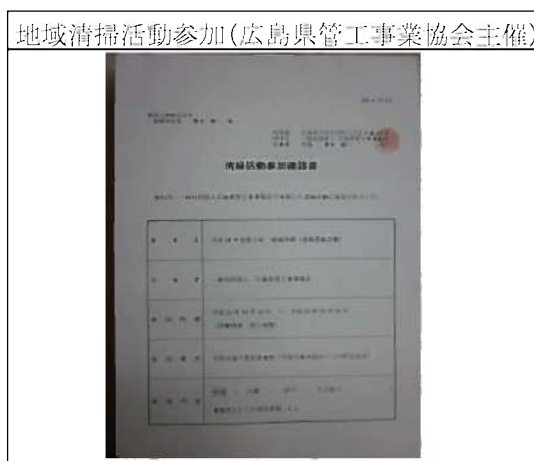
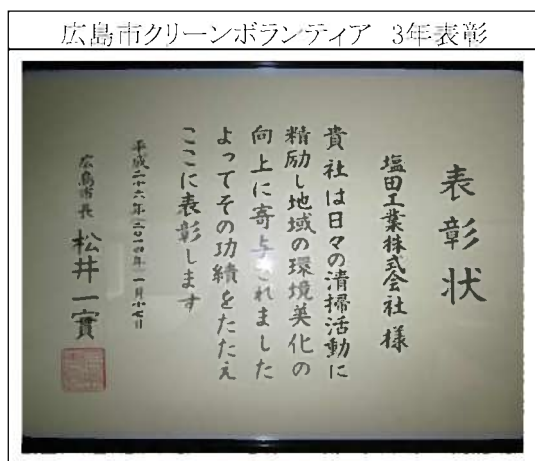
○ 地 域 貢 献 …… 廃品回収による車椅子段差移動スロープ寄贈 等



- ・ ペットボトルの蓋、缶ジュース、缶ビールのプルトップ回収等

【2014 年】

○ 地 域 貢 献 …… 地域清掃活動、現場周辺の草取り、ゴミ拾い 等



○ 緊急事態・・・火災対応手順書への消火器訓練及びAED講習・訓練実施

南海トラフ地震防災規定の追加

※ 下記訓練、講習を行った結果、現状では手順書見直しの必要性はありません

消火器訓練(7月)



AED講習・訓練(10月)



南海トラフ地震防災規定



- ・ いざという時のための消火器訓練及びAED訓練
- ・ 近い将来起こるであろう南海トラフ地震に備えた防災規定の設置
(平成26年9月16日広島市南消防署提出)

○ 環境配慮・・・水道施設機器類への塗装にノンタールエポキシ樹脂使用

排ガス規制適合のラフタークレーン使用

ノンアスベストガasketの使用

低騒音型発電機の使用

密閉作業環境でののはつり作業で集塵ドリル使用 等

(次頁に写真有り)

ノンタールエポキシ樹脂塗料使用



排ガス規制適合ラフタークレーン使用



ノンアスベストガasket使用



現場でのエコ商品の利用



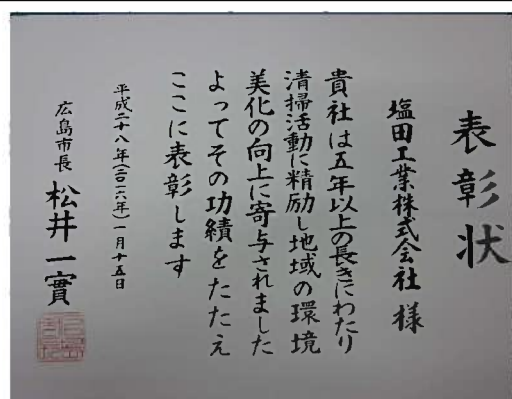
集塵ドリル使用



【2015 年】

○ 地 域 貢 献 … 地域清掃活動、現場周辺の草取り、ゴミ拾い

広島市クリーンボランティア 5年表彰



月に一度の環境整備(社員全員)



○ 創 意 工 夫 …

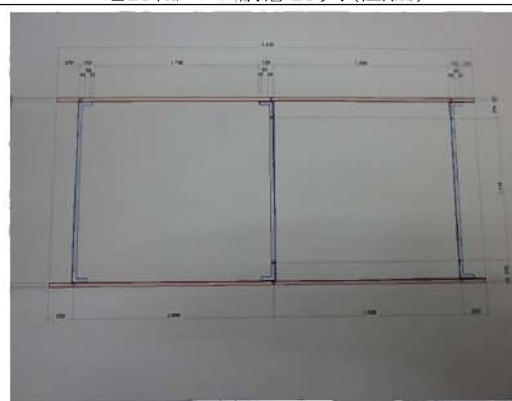
現場で創意工夫



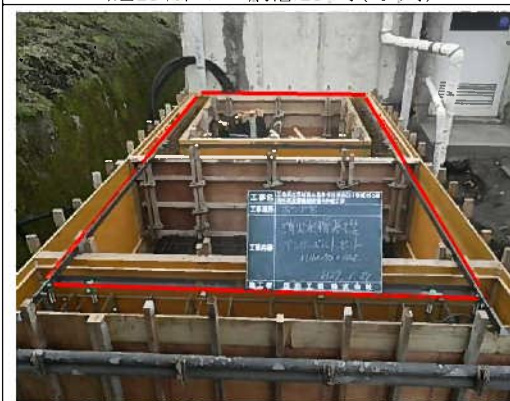
○ 左記、電気配線を分岐するためのプルボックスである。これまでは取付場所に見合ったものを製作していたが、既成品に手を加えることで、見栄え等も含め、安価で良質のも施工が可能となった。

○ 下記は、対角寸法など精度が出にくい場所に基礎を打つ際、アンカーボルトを固定するためにアングル鋼材でボルト位置に穴をあけた定規を考案製作し、所定の位置にアンカーボルトを固定する方法で施工した。

施工面での創意工夫(図面)



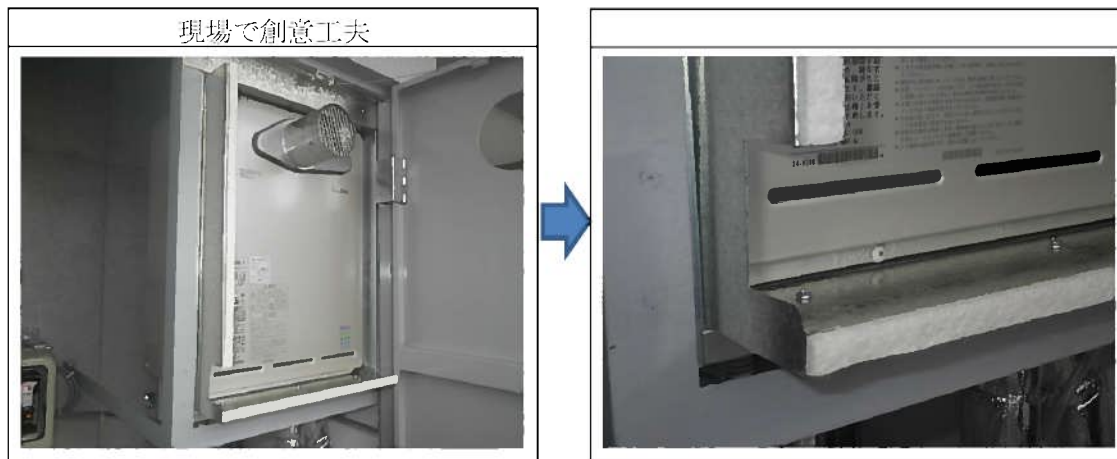
施工面での創意工夫(写真)



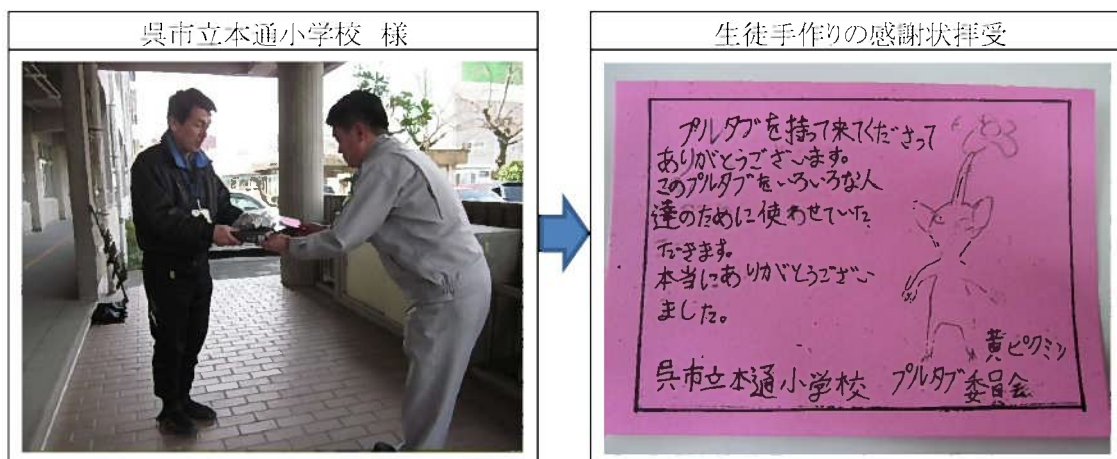
まとめ … 今後も現場作業等での気付きの中で創意工夫をし、環境に配慮した施工に取り組めます。また、現場周辺への目配り・気配りを常に、地域に貢献できる施工を心掛けて参ります。

【2016 年】

○ 創意工夫 … メーターボックス内ガス給湯扉緩衝材設置



○ 地域貢献 … 現場近隣の小学校へベルマーク、ペットボトル蓋、プルタブ寄贈



広島市立伴南小学校 様



広島市立東浄小学校 様



広島市立矢野西小学校 様



- 緊急事態・・・火災対応手順書への消火器訓練及びAED講習・訓練実施
 ※ 下記訓練、講習を行った結果、現状では手順書見直しの必要性はありません

消火器訓練(7月)



AED講習・訓練(10月)



広島県一斉防災訓練(11月)



【2017 年】

- 緊急事態・・・火災対応手順書への消火器訓練及びAED講習・訓練実施
- ※ 下記訓練、講習を行った結果、現状では手順書見直しの必要性はありません

消火器訓練(7月)



AED講習・訓練(10月)



- 創意工夫・・・新製品の採用による、作業時間の短縮・施工精度の向上化

現場で創意工夫(QCアンカーの採用)



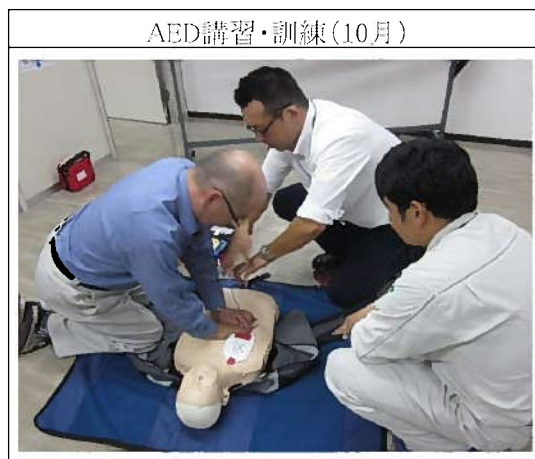
- ・ QCアンカーとは天井懸垂物を固定するためのアンカーである。
一般的なアンカーは締付トルク管理をトルクレンチによる手締めで行っていたが
新製品のQCアンカーを採用することによって、電動インパクトレンチで締め付けることにより
規定トルクに達すると、先端のナット部分がねじ切れるため、締付トルクの管理が容易となり
作業時間の短縮・施工精度の向上・作業員の負担軽減を促すものである。

○ 地 域 貢 献 … 現場近隣の小学校へベルマーク、ペットボトル蓋、プルタブ寄贈



【2018 年】

- 緊 急 事 態 … 火災対応手順書への消火器訓練及びAED講習・訓練実施
※ 下記訓練、講習を行った結果、現状では手順書見直しの必要性はありません。



○ 地 域 貢 献 … 広島平和記念公園への千羽鶴奉納

被爆地ヒロシマに拠点を置く企業として、原爆の被害と平和の大切さを伝えるきっかけになればと考え、社内従業員や弊社を訪れた企業様等のご協力をいただき千羽鶴を折り、平和への思いを込めて広島平和記念公園へ奉納してきました。

ご協力いただいた方々のお名前やメッセージは、広島市HPの折鶴データベースに登録され、後世に伝えられています。

受付前に案内を掲示



千羽鶴作成



平和記念公園にて奉納



原爆の子の像に慰霊



【2019 年】

○ 地 域 貢 献 … 庄原特別支援学校にて学校周辺生活用道路での草刈り

弊社が受注した、「広島県立庄原特別支援学校校舎1号棟内部改修機械設備工事」において、近隣住民への挨拶を行ったときに、学校裏の生活用道路に雑草が伸び虫やヘビ等が、道路に出てきて困っているとの話が多く聞かれたので、当現場で現場管理を行っている、建築・電気・設備業者で声を掛け合い、生活用道路の除草作業(約100m)を行い、住民からお礼の言葉をいただきました。

除草作業前



除草作業実施状況



除草作業後



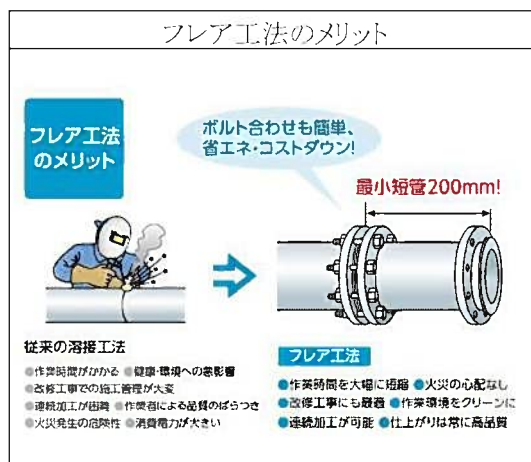
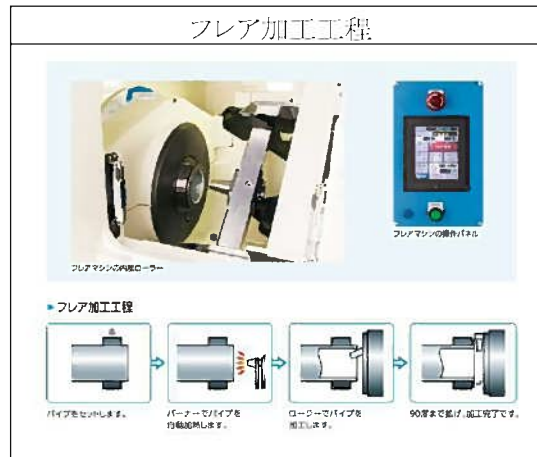
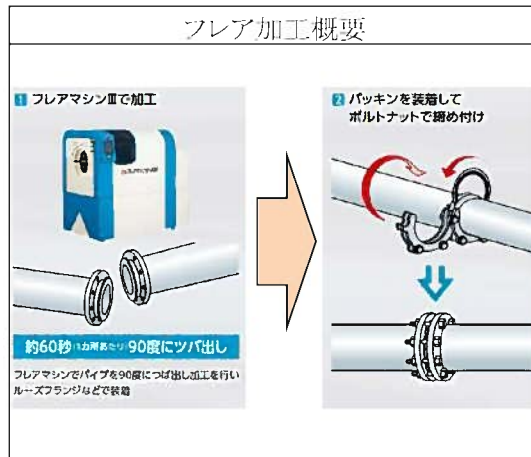
【2020 年】

○ 創 意 工 夫 …… 本社屋上に遮光シートを設置し、空調機の効率化と省エネルギー化

屋上遮光シート設置



○ 創 意 工 夫 … 現地で溶接を行わない、安全で環境に配慮した工法の提案(フレア工法)



「フレア工法」とは、火を使わずに配管を接続する新工法である。

従来の配管溶接加工は、現地にて火を使うため、引火による火災発生の危険や作業員の熟練度による品質・精度の問題、溶接時の二酸化炭素等のガス発生による作業員自身の健康と環境への悪影響等、さまざまな問題があった。

今回採用したフレア工法は、配管を工場で加工したのちに現場に搬入するため火を使わないことにより火災の心配がなくなり、作業時間も短縮することができ、品質も向上し作業員の健康や環境への影響がない、クリーンでエコな工事を行うことができた。

【2021 年】

○ 地 域 貢 献 …… 広島県健康福祉センターにて幼稚園児を招き現場見学会を開催

弊社が受注した、「広島県健康福祉センター空気調和設備更新工事(1期)」において近年の少子化や3K等により建設業離れが進む中で、幼少の時から『ものづくり』に興味を持ってもらうことができればと考え、現場近隣にある広島市皆実保育園の園児を招き100tラフタークレーンの現場見学会を開催した。

現場見学会の様子①



現場見学会の様子②



園児からの感謝状



園児たちからの塗り絵を現場に掲示



見学会が業界紙の一面に掲載される



○ 創 意 工 夫 …… ドローンによる上空からの施工管理写真及び動画撮影

弊社が受注した、「広島県健康福祉センター空気調和設備更新工事(1期)」において作業員の配置・重機据付位置・仮設状況等、地上で見えない全体像を立面状態に可視化することにより、新しい施工方法を検討・提案するために導入した。

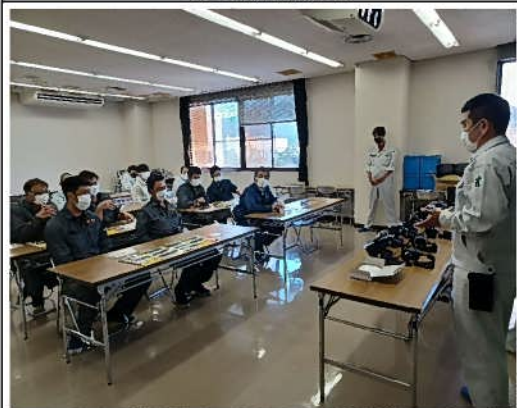


【2022 年】

○ 安 全 性 …… 太田川流域東部浄化センターにてVRによる事故体験安全教育を開催

弊社が受注した、「太田川流域東部浄化センター管理本館空気調和設備改修工事」において安全訓練の一環として、Virtual Reality (VR) を用いて、不安全行動に対する類似体験を行った。不安全行動による事故事例が20コンテンツが収録されており、体験することにより安全意識の高揚が感じられるものであった。

安全訓練開催



使用機材



安全訓練実施状況①



安全訓練実施状況②



○ 環境配慮・・・ソーラーパネル発電システムの採用

弊社が受注した、「太田川流域東部浄化センター管理本館空気調和設備改修工事」において現場事務所及び蓄電池設備の上部にソーラーパネルを設置し、現場事務所や作業員休憩所で使用する電力を太陽光でまかなう事により、CO2の削減に努めた。

ソーラーパネル設置状況



発電システム管理画面



○ 地 域 貢 献 …… 太田川流域東部浄化センターにて高校生を招き現場見学会を開催

弊社が受注した、「太田川流域東部浄化センター管理本館空調設備改修工事」において
普段、日にとすることのない機械設備工事の現場に興味をもってもらいたいと考え、広島県立
広島工業高等学校 建築科1年生と2年生の生徒14名を招き、25tクレーンを使用した搬出作業の
見学と配管の曲げ・切断体験を実施した。

現場見学会の様子①



現場見学会の様子②



現場見学会の様子③



現場見学会の様子④



現場見学会の様子④



○ 地 域 貢 献 …… 広島県健康福祉センターにて高校生を招き現場見学会を開催

弊社が受注した、「広島県健康福祉センター空気調和設備更新工事(2期)」において
普段、目にする事のない機械設備工事の現場に興味をもってもらいたいと考え、広島県立
広島工業高等学校 建築科 1年生(2クラス計80名)の生徒を招き、現場見学会を実施した。

現場見学会の様子①



現場見学会の様子②



現場見学会の様子③



現場見学会の様子④



見学会が業界紙の一面に掲載される



【2023 年】

○ 地 域 貢 献 …… 広島県知事から優良建設業者として表彰される。

弊社が受注した、「広島県健康福祉センター空調和設備更新工事(2期)」において、前年に行った地域貢献等の活動により、2022年度の広島県発注工事受注業者にて最高点となる「87点」を獲得し、広島県知事より社会資本整備への貢献と功績が評価され、優良建設業者として表彰されました。

評点が業界紙の一面に掲載される

広島県より優良建設業者として表彰される

まとめ …… 今後も、社内・現場作業等での気付きの中での提案を随時採用していきます。

VI. 主な環境負荷低減活動

- ① 当社は事業活動において発生する環境に対する負荷を低減するために、以下のような活動を全社員一丸となり実施致しております。

LED照明の導入



こまめな消灯運動



LED & 空調機



グリーン購入リスト



環境配慮型空調設備導入



エアコン温度設定



環境配慮型節水トイレ



両面コピー励行



ゴミの保管場所(分別)



消火器実放射訓練風景



地域の清掃活動参加



クリーンボランティア活動





② エコ提案採用案件の紹介(実施中)

- ・ 両面コピーの励行
- ・ 社内間文書のコピー及びプリント出力は裏紙を使用する。
- ・ 毎月15日を環境整備の日と定め、会社周辺の市道・歩道のごみ拾い、草抜き等を行う。

まとめ ... 極力コストをかけず、即実行できるものを中心に今後も社内、現場作業等での気付きの中での提案を随時採用していきます。

VII. 環境関連法規への違反・訴訟等の有無

法規制等の名称	該当する要求事項	報告	取組
廃棄物処理法	収集業者の許可証確認(一般)、保管基準、収集運搬・処理業者との契約、産業廃棄物管理票交付等状況報告	○	○
建設リサイクル法	建設副産物の提出	○	○
フロン排出抑制法	機器の廃棄を委託された場合「委託確認書」の受理と写しの保存及びフロン回収業者の「引取証明書」の受理と保存(3年)	—	○
現場毎に発生する要求事項の確認	近隣住民との協定(作業時間・休日作業の制限等)	○	○

上記の通り環境関連法規への違反、関係当局より違反等の指摘又は近隣からの苦情及び係争中の事件につきまして過去3年間ございません。

代表者の見直し

《 取組状況について 》

現状に決して満足せず、エコアクション活動を向上し続けられるよう、社員への周知及び喚起を継続して行っていく。

《 目標・環境経営活動計画について 》

まだ当面この目標、環境経営活動計画を意識させた取組を継続して行う。目標等が常時達成でき始めたらワンランク上を目指した目標数値に変更する。

《 現場での取り組みについて 》

- ・ 引き続きゴミの分別、再利用(リサイクル化)を推進していく。
- ・ KYミーティングを入念に行い、『安全は全てに優先する』を常に、決して事故・災害を起こさぬよう、基本に忠実に業務を遂行していく。

《 地域貢献活動について 》

現場でのコミュニケーション、近隣への気配りなど、現場管理者として、また一人の社会人としてどうすれば地域に貢献した取り組みができるのかを周囲を巻き込み活動していく。

《 その他 》

引き続き、環境に配慮した施工、創意工夫を共有し、現場作業を円滑且つ合理的に邁進していく現場教育を周知していく。環境管理責任者、環境事務局及び両管理責任者で職場の環境についての見直しを行う。